



一中だより



編集・発行 / 武蔵村山市立第一中学校 〒208-0004 武蔵村山市本町2-76-1 TEL 042-560-1761

きさらぎ 如月 = 衣更着：衣を更に重ね着して過ごす月

校長 森元 隆之

梅一輪 一輪ほどの 暖かさ 服部嵐雪

この句は寒さの厳しい冬によまれたもので、寒梅が一輪咲いた姿を見て、「一輪ほどのほんのわずかな暖かさを感じるよ」と、作者が、ささやかな春の到来を喜んでいる様子が浮かびます。

立春(明日4日)とはいえ、まだまだ冷え込みの厳しい折、風邪など引かないようご自愛ください。

さて、前号で紹介した、武蔵村山市図画工作・美術展、書き初め展を鑑賞してきました。各校・各学年代表ということもあり、どの作品も生き生きとし、創りあげた児童や生徒の、姿勢や表情を感じさせる素晴らしいものでした。第一中学校からは、美術の授業で取り組んだ「空間を彩るランプ(3年生)」や「とっておきの箱をつくろう(2年生)」「モザイクアート(1年生)」など、I組作品として「銀河鉄道の夜(全学年)」 「木彫八角鏡(2年生)」 「水墨画(3年生)」が展示されました。バランスよく配置された図柄やデザインは、偶然できあがったものではなく、仕上がる(仕上げる)イメージをもって、創っているのだろうと感心しました。

また、書き初め展では本市の小・中学生のレベルの高さを感じました。新年になって「書き始める」行事ですから、最初の一枚に価値があります。その心構えはもちろん、送筆の伸びやかさを感じました。展示会場で、一中学生も通っている書道教室の先生にお目にかかり、教室での生徒の様子をうかがうことができました。ご家族の励ましや協力に感謝し、それに応えたいという感情もあり、この展示会や東京都公立学校美術展覧会(公美展)への思い入れの強さなど、貴重なお話もいただきました。

まもなく、1年生スキー移動教室を、長野県菅平高原で行います。2・3年生は、経験者として宿泊行事成功のポイントを伝えてあげましょう。また、1年生はお土産話をたくさんもちかえって、ご家族や先輩に話してあげましょう。

